

## アクティビティ STEP1-B1 問題クモの巣 ★★★★★

実施時間：40分

使用教材：アクティビティブック P.8 ガイドブック P.18

形式：グループワーク→全体ワーク

準備物：付箋、模造紙 1枚、マジックペン

(グループワークの場合は、グループ分用意)

### <活動内容>

自分が知っている社会課題をマインドマップ形式(クモの巣のようにつながりがある事象を線で結びつないでいるもの)で列挙し、解決策を考え合うことで、それぞれの社会課題が関連し合い、社会課題の解決には自分の興味関心事から着手すれば良いという

気づきを視覚的に得る。

### <目標>

- 児童・生徒自身が知っている社会課題が、各グループで10個以上模造紙へ挙がっている
- 関連する社会課題どうしを線で結び、全体的にクモの巣状になっている
- 挙げた社会課題はSDGsのどのゴールに向け国際社会が解決に向かっているかを結び付ける。
- グループごとに社会課題の解決アイデアも考える

### <児童・生徒の状態目標>

- 社会課題を挙げ、関係性の整理等を通じ、社会課題に対する理解が深まっている
- キーワードや時事情報等から、繋がりや発見や連想等、情報整理に関する気づきを得ている
- 小さな取り組みから問題解決が出来ることを理解し、「自分達にも変化を起こせる」という自信が少しでも付いている

(この時点で自分が関心を持っている社会課題や取り組みに気付くことが出来ていれば尚良し)

### <授業の流れ>

| 概要                               | 学習活動  | 留意点  |
|----------------------------------|---|--|
| 導入<br>社会課題の<br>書き出し<br><br>ワーク5分 | ・児童・生徒達が知っている社会課題を付箋に書き出させる。<br>(各グループ10個以上)<br><声掛けの例><br>「今日は、私達の身の周りや世界にどんな社会課題があるか、それぞれの問題がどう関係しているか、解決するためにはどんな事から取り組んでいけばよいか考えます。最初に、自分が知っている社会課題を付箋に書きましょう。付箋1枚に1つの社会課題を書きましょう。」 | ・児童、生徒が社会課題をあまりイメージ出来ない場合、大きなテーマを例に出す。(貧困・環境問題・テロ・差別・虐待・難民・児童労働・人身売買・食料廃棄、いじめ等)<br>・後日STEP2-B1(インスピレーションカードゲーム)を行う場合、このワークで出てきた社会課題は記録、保存しておく。 |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>共有・整理</p> <p>ワーク 10 分</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋を模造紙に貼り付け、関係していると思われるものを線で繋げさせる。</li> <li>・全体の概観がクモの巣状になるまで続ける。</li> </ul> <p>&lt;声掛けの例&gt;</p> <p>「それでは、皆の書いた付箋を模造紙に貼りましょう。そして、似ている・関係すると思うものどうしを線で繋いでみましょう。」「関係するものは複数線で結んで大丈夫です」</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋の貼り方は自由。</li> <li>・線の繋ぎ方も自由。</li> <li>・グループ内で独自に規則を定める場合、セーフスペースを意識させるようにする。</li> </ul>                                       |
| <p>説明・思考</p> <p>説明・<br/>ディスカッション</p> <p>5 分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題が複雑に絡んでいる事を示す模造紙に注目させ、「社会課題が一見巨大で恐ろしい難題であるように見えること」を伝える。</li> <li>・貼付した問題の 1 つを手で隠し、解決したと仮定する。それに付随してどの様なことが起きるか問いかける。</li> <li>・児童、生徒側から、「他の問題も同時に無くなると思う」といった内容の回答を得る。</li> </ul> <p>&lt;声掛けの例&gt;</p> <p>「模造紙全体を見てください。クモの巣の様に見えますよね。この様に、社会課題はそれぞれが複雑に絡み合っ、とても大きく、難しい問題の様に見えます。では、ここでこの問題が無くなったと仮定すると、どうなると思いますか？」</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかけの際、左記の期待する回答がなかなか出てこない場合は、誘導しない程度に「この問題が解決したら、世界はこういう状態になる」といったヒントを出す。</li> <li>・児童、生徒の状況に併せ、「放射線」「●●●」などの表現を行う。</li> </ul> |
| <p>解決策提示</p> <p>ディスカッション</p> <p>20 分</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題は、1 つのアクションが様々な問題の改善に繋がることを伝える。</li> <li>・模造紙に貼り付けた社会課題は SDGs のどのゴールに向かって進んでいるか結びつける。</li> <li>・社会課題の解決策をグループでもアイデアを出し合う。</li> </ul> <p>&lt;声掛けの例&gt;</p> <p>「この様に、1 つの問題を解決すると、同時に他の問題にも良い変化をもたらすことができます。これらの社会課題を少しでも、もしくは完全に無くすために、皆さんはどんなことが出来るか考えてみましょう。小さなことでも大きなことでも構いません。アイデアをグループごとに考え、社会課題の近くに書き出してみましょう」</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙に貼った社会課題にSDGsのゴール番号を記入したり、同じ色のシールなどを貼る。</li> </ul>   |